

新しい年度に向けて

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言われたものですが、今年は春分の日を過ぎても、霜が降りる寒い朝が続いています。道端のヒメオドリコソウもいつの間にやら背丈を伸ばし、霜の白さと相まって、まるで氷上でダンスを踊っているようにも見えます。



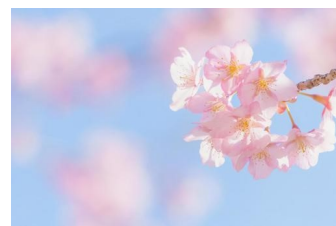
卒業式や県立高校の入試もほぼ終わり、静かに移り行く時を感じながら次の季節の到来を待っているような時季でもあります。学校では、朝の自転車置き場、始業ベルが鳴ってものがらとした2階の教室に、3年生のいなくなった淋しさと安どものたりなさの入り混じった雰囲気が漂っています。

令和3年度ももう少しで終わろうとしています。やはり今年もコロナ対応に終始した感のある一年でした。臨時休業、行事の変更、集会や体験活動の制限・・・そんな中でも、朝明中のみんなは、明るく、前向きに挑戦をし続け、毎日の授業はもちろん、体育祭や文化祭をはじめ、いろいろな行事も見事にやり遂げました。そして、お互いを大切にし、よりよい集団生活を作り上げることができる生徒に成長していました。物理的な距離は遠くとも、心の距離は確実に近くなったはずです。

新たな年度こそは、感染症拡大も落ち着き、本来の教育活動が戻ってくことを期待せずにはられません。あと2週間もすれば、2年生は最上級生になり、1年生は後輩を迎えることになります。生活面、学習面など、自身のこの一年を振り返ることで、来年度への課題をしっかりとつかんで、次の学年につなげていきたいものです。



そして、コロナ禍のこの一年を大過なく送ることができたのは、いつも子どもたちの安心安全のために注力されたご家庭でのご協力のおかげでありますことを心より感謝申し上げます。



第74回卒業証書授与式

3月7日（月）、第74回朝明中学校卒業証書授与式を迎えることができました。卒業生と教職員、保護者の方々、来賓代表、学校関係者の皆様、在校生代表に見守られ、当日は183名の卒業生に直接卒業証書を手渡すことができました。



感染症の拡大の勢いが止まらない中、市内の全中学校に突然の合唱練習中止の知らせが飛び込んできたのは、月曜日の本番を直前に控えた前の木曜日、体育館での3年生の練習の真ただ中のことでした。式本番では、国

歌、校歌、式歌を含むすべての合唱を行なわないことの通達。卒業式の日のために早くから練習を積み重ねてきた卒業生のみなさんにどのように伝えようかと迷いました。もちろん、先生たちもみんなショックでした。

しかし、卒業生のみんなの素晴らしい歌声は、当日式に出られない後輩のためにと、通達の直前に記念に録画録音されていました。そして、式当日も最後にプログラム通りの「式歌合唱」として、その模様をビデオ上映することができました。その歌声は、卒業生のひとりひとりはもちろん、列席者全員の心にしっかりと焼き付けることができたはずです。記念に撮ったたった一度のチャンスが見事に生き、生歌に負けない歌声が響き渡った感動は、まさに卒業生の気持ちが通じた証であると言えます。



保護者の皆様、学校関係者の皆様、本当にありがとうございました。この日を無事にむかえられましたことは、皆様のご理解ご協力のたまものと感謝にたえません。

限られた中でもできる限りのことはできた、すばらしい卒業証書授与式であったと感じています。はるか長い道のりを歩き出した3年生の皆さん、卒業おめでとう！

卒業生の入場通路には、在校生からの贈る言葉が壁いっぱい広がっていました。

今年もバトンは確かに引き継がれました。



朝明中学校通信『和 学 鍛』は、本号をもって本年度の最終号とさせていただきます。
今後も、子どもたちの健全育成のために、家庭、地域、学校がそれぞれの役割を果たし、連携して取り組んでいけるようご協力をお願いします。
1年間ありがとうございました。

(校長 海戸田 恵一)